

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第1学年 1学期 音楽科 シラバス

【学習の目標等】

【歌唱分野】 基礎的な歌唱方法を理解し、表現を工夫し、仲間と共に歌う。

【器楽分野】 基礎的な演奏方法を理解し、正しい運指で丁寧に美しい音色で演奏する。

【鑑賞分野】 曲の特徴や美しさをつかみ、音楽の諸要素を用いて、根拠をもって批評する。

【創作分野】 4分の4拍子を理解し、リズム・強弱・速度を工夫して創作を行う。

【評価の観点及び内容】

【知識・技能】

・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。

・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

【思考・判断・表現】

音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽表現を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】

【知識・技能】

・歌唱や器楽、創作において、表現に必要な音楽用語や音楽の諸要素、形式等を理解しているか。

(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、作品)

・歌唱や器楽、創作において、表現するための基礎的な技能を身に付け、それを用いて表現しているか。

(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表)

【思考・判断・表現】

・ねらいとする表現方法を考え、ねらいに合う表現方法を取捨選択し、工夫して表現をしているか。

(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、創作作品)

【主体的に学習に取り組む態度】

・歌唱、器楽、創作、鑑賞において、音楽を味わい楽しみ試行錯誤しながら様々な活動に取り組もうとしているか。(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表、発表の内容、鑑賞レポート、他者の意見から様々な発見をしたか、自分の考えを発展させたか)

【学びを高める学習方法アドバイス】

学習方法 (持ち物やノートの取り方、家庭学習等について)

(1)持ち物 ※音楽バッグに入れて授業に持参する。授業が始まる前に教科書類を出して机の上に置いておく。

- ①教科書2冊(音楽、器楽) ②合唱曲集(マイ・ソング) ③音楽ワーク ④音楽ファイル
⑤付箋紙、のり ⑥筆記用具(名前ペン)

(2)提出物について ※それぞれの提出期限を守って提出すること

- ①振り返りカード②鑑賞レポート③合唱曲記録プリント④器楽プリント⑤教科書の記録コーナー⑥ワーク
⑦ファイル(配布されたプリントが全てあるかチェックします。)

(3)家庭学習について

- ①鑑賞レポート、学習プリント、ワーク、創作作品の仕上げを宿題にすることがある。
②chrome bookの音源で合唱曲の自分のパートを練習する宿題を出すことがある。

授業の受け方 ●やる気を持って取り組み、自分に力がつく●合唱は仲間と協力して練習に取り組む

(1)適切な音量や声量で、身体全体を使って演奏する。(ギターやアルトリコーダーを演奏する、歌を歌う)

・大きな声を出せば、自然に音程も声質も整うので、誰でも楽しく歌えるようになる。(笑顔で楽しもう!)

(2)話し合いの場面では、積極的に発言し、仲間と意見を交換する。そこから新たな発見や自らの考えを深化できる。(恥ずかしがらずに発言しよう!挑戦しよう!)

(3)合唱練習では、発声方法と「ブレスの効果」を理解し、仲間と声色や声質を合わせて歌う。(大きな声!)

(4)練習中の注意事項や工夫点を楽譜に記録する。(まずは先生が言ったことを記録してみよう!)

(5)鑑賞分野では、「音楽の諸要素」を用いて、自分が感じたことを自分の言葉で鑑賞レポートを記述する。(詳しく丁寧に書いてみよう!1年生はまずはたくさん記述してみよう。)

【教科担任からのメッセージ】

1 授業は週に1回、年間35回です。常に「何を工夫して、どのように表現したいのか」を考えよう。

2 自分の考えと仲間の考えの良さや違いを理解し、より素晴らしい表現を考え、言葉や演奏で伝えよう。

(様式2)

月	時配	学習する内容 (時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身に付けてもらいたい 力・学習内容	家庭学習の要点
4月	3	◆出会いの喜び (1) ①授業の受け方 ②アンケート ③教科書の旅 ④教材の配付	・1年間の授業の流れや受け方を理解する。 ・「教科書の旅」(内容把握)を通して、授業に親しみをもつ。	・中学校での楽しみ方やコツを理解すること。 ・主体的に話を聞き、意欲的に「教科書の旅」(内容把握)に取り組む。 ・様々な音楽や作品の存在や概要を知り、記述ができること。	・授業の受け方 ・音楽への興味 の持ち方や楽しみ方 ・教科書の内容
		◆曲の構成を感じ取って(2) ・「校歌」 ・「主人は冷たい土の下に」	・旋律の特徴や強弱の変化に気を付けながら、表現を工夫して歌う。 ・表現の変化を求められる箇所を理解する。	・「校歌」「主人は冷たい土の下に」を聴き、曲の構造を理解すること。 ・グループで話し合い、曲の特徴について分析すること。 ・二部形式で、最も変化している箇所の歌い方を考え、表現すること。	・旋律 ・強弱 ・二部形式 ・構成
5月	4	◆イメージをもたらす音楽(1) 【鑑賞】【表現】 ・映画「ジョーズ」テーマ音楽	・音楽から得られるイメージと、音楽の特徴との関わりに注目しながら聴く。	・注目するポイント(諸要素)に気を付けながら、感じたことや思い浮かべたイメージを記述すること。 ・イメージと音楽の諸要素のつながりを理解し、歌の表現にどのようにつなげるか考えること。	・諸要素 ①強弱 ②速度 ③リズム ④音の高低 ⑤音色
		◆作者のメッセージを受け止め 思いを込めて歌おう(3) 【歌唱】 「その先へ」	・旋律の動きや強弱に気を付けながら、表現を工夫して歌う。	・歌詞にこめられた思いを感じ取る。 ・曲想の変化をダイナミックに表現するために、口の周辺の筋肉を十分に動かし、生き生きとしたニュアンスで表現する。(参考資料P15, 16)	・旋律の変化 ・強弱の変化 ・発声の技術 ・調 ・反復記号
6月	4	◆曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って 【鑑賞】(2) シューベルト作曲 歌曲「魔王」	・詩の内容や音楽の特徴に気を付けて、場面の様子を想像しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	・作曲者、時代背景、歌曲について知る。 ・語り手、父、子、魔王の旋律の雰囲気や歌い方の違いに注目しながら聴くこと。 ・子の「恐怖感」の絶頂に達するまでの音楽的な変化を聴き取る。	・リート ・音域 ・音色 ・旋律 ・テクスチャ ・強弱
		◆(2)曲の構成や曲想の変化を生かして 【歌唱】 「マイ・バラード」	・パートの役割や曲想の変化を感じ取り、工夫して歌う。 ・歌詞にこめられた思いを受け止め、伸び伸びとした声で歌う。	・旋律の特徴や強弱の変化に気を付けながら、表現を工夫して歌う。 ・DまでとE以降の曲想の劇的な変化に気づき、工夫して歌うこと。	・速度 ・旋律 ・強弱 ・構成
7月	3	◆心通う合唱 合唱祭に向けて 【歌唱】 混声三部合唱	・歌詞にこめられた思いを受け止め、曲の特徴を味わい、表現を工夫して歌う。	・学級の仲間と思いを共有して選曲すること。 ・リズム、音の高低を正確につかみ歌うこと。 ・ブレスや発声の種類に工夫して歌うこと。	・ブレスの種類 ・発声の種類 ・速度 ・旋律 ・強弱 ・構成

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第1学年 2学期 音楽科 シラバス

【学習の目標等】

【歌唱分野】 基礎的な歌唱方法を理解し、表現を工夫し、仲間と共に歌う。

【器楽分野】 基礎的な演奏方法を理解し、正しい運指で丁寧に美しい音色で演奏する。

【鑑賞分野】 曲の特徴や美しさをつかみ、音楽の諸要素を用いて、根拠をもって批評する。

【創作分野】 4分の4拍子を理解し、リズム・強弱・速度を工夫して創作を行う。

【評価の観点及び内容】

【知識・技能】

・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。

・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

【思考・判断・表現】

音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽表現を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】

【知識・技能】

・歌唱や器楽、創作において、表現に必要な音楽用語や音楽の諸要素、形式等を理解しているか。

(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、作品)

・歌唱や器楽、創作において、表現するための基礎的な技能を身に付け、それを用いて表現しているか。

(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表)

【思考・判断・表現】

・ねらいとする表現方法を考え、ねらいに合う表現方法を取捨選択し、工夫して表現をしているか。

(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、創作作品)

【主体的に学習に取り組む態度】

・歌唱、器楽、創作、鑑賞において、音楽を味わい楽しみ試行錯誤しながら様々な活動に取り組もうとしているか。(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表、発表の内容、鑑賞レポート、他者の意見から様々な発見をしたか、自分の考えを発展させたか)

【学びを高める学習方法アドバイス】

学習方法 (持ち物やノートの取り方、家庭学習等について)

(1)持ち物 ※音楽バッグに入れて授業に持参する。授業が始まる前に、道具を出して机の上に置いておく。

- ①教科書2冊(音楽、器楽) ②合唱曲集(マイ・ソング) ③音楽ワーク ④音楽ファイル
⑤付箋紙、のり ⑥筆記用具

(2)提出物について ※それぞれの提出期限を守って提出すること

- ①振り返りカード②鑑賞レポート③合唱曲記録プリント④器楽プリント⑤教科書の記録コーナー⑥ワーク
⑦ファイル(配布されたプリントが全てあるかチェックします。)

(3)家庭学習について

- ①鑑賞レポート、学習プリント、ワーク、創作作品の仕上げを宿題にすることがある。
②chrome bookの音源で合唱曲の自分のパートを練習する宿題を出すことがある。

授業の受け方 ●やる気を持って取り組み、自分に力がつく●合唱は仲間と協力して練習に取り組む

(1)適切な音量や声量で、身体全体を使って演奏する。(ギターを演奏する、歌を歌う)

・大きな声を出せば自然に音程も声質も整うので、誰でも楽しく歌えるようになる。(笑顔で楽しもう!)

(2)話し合いの場面では、積極的に発言し、仲間と意見を交換する。そこから新たな発見や自らの考えを深化できる。(恥ずかしがらずに発言しよう!挑戦しよう!)考えたことを演奏や創作での表現につなげる。

(3)合唱練習では、発声方法と「ブレスの効果」を理解し、仲間と声色や声質を合わせて歌う。(大きな声!)

(4)練習中の注意事項や工夫点を楽譜に記録する。(まずは先生が言ったことを記録してみよう!)

(5)鑑賞分野では、「音楽の諸要素」を用いて、自分の言葉・表現も加えて鑑賞レポートを記述する。根拠をもって曲を批評するために、自分の考えをできるだけ多く記述することが大切です。

【教科担任からのメッセージ】

1 授業は週に1回、年間35回です。常に「何を工夫して、どのように表現したいのか」を考えよう。

2 自分の考えと仲間の考えの良さや違いを理解し、より素晴らしい表現を考え、言葉や演奏で伝えよう。

(様式3)

月	時配	学習する内容 (時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
9 月	3	◆情景を思い浮かべて(1) 「赤とんぼ」	・情景を思い浮かべながら、思いを込めて歌う。	・旋律の動きや強弱の変化がどのように曲想と関わっているかを感じ取り、表現を工夫して歌うこと。 ・言葉の美しい響きを生かしながら、発音に気を付けて歌うこと。	・旋律 ・強弱 ・歌詞から想像する情景
		◆心通う合唱(2) 【歌唱と指揮】	・音楽を指揮で表現し、より豊かな音楽活動につなげる。	・指揮の動きを通して各部分の曲想を全体で感じ取る。 ・指揮によって演奏者の表現が様々に変化することを理解すること。 ・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を工夫すること。	・指揮法 ・ブレスの種類 ・発声の種類 ・速度 ・強弱 ・音色 ・旋律 ・構成
10 月	4	◆心通う合唱(4) 【歌唱】学級曲 【鑑賞】 ※合唱曲の学びにつながる歌曲を鑑賞する。	・曲想と音楽の構造との関わりや、歌詞の内容との関わりを理解し、歌唱表現を工夫する。	・適切な音量や強弱の変化を工夫して歌うこと。 ・作詞者と作曲者の意図を理解し、それらが聴き手に伝わるように、音楽の諸要素に着目して歌う。 ・曲想と音楽の構造が、歌詞の内容とも関わり、音楽の変化をつくっていることを理解し、様々な変化が伝わるように、表現を工夫して歌う。	
11 月	4	◆日本に古くから伝わる箏の音楽を味わおう 【鑑賞】(2) 八橋検校 「六段の調べ」 【実技】(1) 箏	・楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化などに気を付けて、箏曲のよさや美しさを味わって聴く。 ・箏で「六段の調べ」の冒頭を弾く。	・楽器の構造や歴史的背景を理解すること。 ・流派や奏法、序破急を理解すること。 ・初段から六段までの旋律や速度の変化に気を付けながら、味わって聴くこと。 ・曲の冒頭を弾くこと。	・楽器の構造 ・奏法 ・音色 ・序破急
		◆ギターに挑戦(3)【鑑賞】 「アルハンブラ宮殿の思い出」 【実技】 「喜びの歌」 「四季の歌」	・ギターの音色を味わって聴く。 ・基礎的な奏法を理解し、旋律を弾く。	・数種類のギターの音色違いや美しさやよさを味わうこと。 ・楽器の構造、基礎的な奏法を理解すること。 ・音階 ・旋律を弾き、全体で合わせて弾くこと。	・構造 ・奏法
12 月	4	◆情景を思い浮かべて(2) 【鑑賞】 ヴィヴァルディ 「調和と創意の試み」より「春」	・音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴く。 ・古楽器との聴き比べを行い、音色と響きの違いを味わう。	・作曲者が情景をどのように表現しているのかに注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。 ・合奏と独奏の対比や、曲の構成に気を付けながら聴くこと。	・時代背景 ・バロック音楽 ・リトルネロ形式 ・通奏低音 ・弦楽器の種類と構造

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第1学年 3学期 音楽科 シラバス

【学習の目標等】

- 【歌唱分野】 基礎的な歌唱方法を理解し、表現を工夫し、仲間と共に歌う。
- 【器楽分野】 基礎的な演奏方法を理解し、正しい運指で丁寧に美しい音色で演奏する。
- 【鑑賞分野】 曲の特徴や美しさをつかみ、音楽の諸要素を用いて、根拠をもって批評する。
- 【創作分野】 4分の4拍子を理解し、リズム・強弱・速度を工夫して創作を行う。

【評価の観点及び内容】

【知識・技能】

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

【思考・判断・表現】

音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽表現を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】

【知識・技能】

- ・歌唱や器楽、創作において、表現に必要な音楽用語や音楽の諸要素、形式等を理解しているか。
(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、作品)
- ・歌唱や器楽、創作において、表現するための基礎的な技能を身に付け、それを用いて表現しているか。
(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表)

【思考・判断・表現】

- ・ねらいとする表現方法を考え、ねらいに合う表現方法を取捨選択し、工夫して表現をしているか。
(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、創作作品)

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・歌唱、器楽、創作、鑑賞において、音楽を味わい楽しみ試行錯誤しながら様々な活動に取り組もうとしているか。(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表、発表の内容、鑑賞レポート、他者の意見から様々な発見をしたか、自分の考えを発展させたか)

【学びを高める学習方法アドバイス】

学習方法 (持ち物やノートの取り方、家庭学習等について)

- (1)持ち物 ※音楽バッグに入れて授業に持参する。授業が始まる前に、道具を出して机の上に置いておく。
①教科書2冊(音楽、器楽) ②合唱曲集(マイ・ソング) ③音楽ワーク ④音楽ファイル
⑤付箋紙、のり ⑥筆記用具
- (2)提出物について ※それぞれの提出期限を守って提出すること
①振り返りカード②鑑賞レポート③合唱曲記録プリント④器楽プリント⑤教科書の記録コーナー⑥ワーク
⑦ファイル(配布されたプリントが全てあるかチェックします。)
- (3)家庭学習について
①鑑賞レポート、学習プリント、ワーク、創作作品の仕上げを宿題にすることがある。
②chrome bookの音源で合唱曲の自分のパートを練習する宿題を出すことがある。

授業の受け方 ●やる気を持って取り組み、自分に力がつく●合唱は仲間と協力して練習に取り組む

- (1)適切な音量や声量で、身体全体を使って演奏する。(楽器を演奏する、歌を歌う)
・大きな声を出せば自然に音程も声質も整うので、誰でも楽しく歌えるようになる。(笑顔で楽しもう!)
- (2)話し合いの場面では、積極的に発言し、仲間と意見を交換する。そこから新たな発見や自らの考えを深化できる。(恥ずかしがらずに発言しよう!挑戦しよう!)考えたことを演奏や創作での表現につなげる。
- (3)合唱練習では、発声方法と「ブレスの効果」を理解し、仲間と声色や声質を合わせて歌う。(大きな声!)
- (4)練習中の注意事項や工夫点を楽譜に記録する。(まずは先生が言ったことを記録してみよう!)
- (5)鑑賞分野では、「音楽の諸要素」を用いて、自分の言葉・表現も加えて鑑賞レポートを記述する。根拠をもって曲を批評するために、自分の考えをできるだけ多く記述することが大切です。

【教科担任からのメッセージ】

- 1 授業は週に1回、年間35回です。常に「何を工夫して、どのように表現したいのか」を考えよう。
- 2 自分の考えと仲間の考えの良さや違いを理解し、より素晴らしい表現を考え、言葉や演奏で伝えよう。

(様式4)

月	時配	学習する内容 (時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
1 月	3	◆音のつながり 方の特徴を生かして (3) 参考曲 「ふるさと」 「主人は冷たい 土の下に」	・音のつながり方の特 徴を理解し、創作する。 (順次進行、跳躍進行) ・和音構成音から適切 な音を選び、旋律をつ くる。	・順次進行、跳躍進行、和音構成音 を理解し、旋律をつくること。 ・テーマをつくり、曲のイメージ をもち、工夫してつくること。 ・chrome book を用いて、音やリ ズム、旋律を確認しながらつくる こと。	・順次進行 ・跳躍進行 ・和音構成音
		◆心通う合唱 (4)	・曲の特徴や歌詞の意 味を理解し、様々な変 化に気を付けながら、 表現を工夫して歌う。 ・オペラのアリアを聴 き、聴き手に伝わる表現 について考える。 ・友だちへの思いを表 現した歌詞と曲の構成 を理解し、表現を工夫し て歌う。	・歌詞の内容や曲の美しさやよさ を感じ取ること。 ・語数の多い歌詞を、顔の筋肉や 口の使い方を工夫し、発音を明瞭 にし、伝わるように歌うこと。 ・楽譜を読み、作曲者の意図や歌 詞の内容を分析し、理解すること。 ・オペラのアリアを聴き、豊かな 表現を味わい、自分たちの表現に 感じたことや気がついたことを生 かすこと。	①発声の工夫 ②顔や身体の使い方 ③声の音色や響き ④思いや意図をも つ
2 月	3	【歌唱】 三年生を送る会 (生徒の選曲) 卒業式 「そのままの君 で」 【鑑賞】 ・プッチーニ 「私のお父さ ん」 「誰も寝てはな らぬ」	・楽器の音色や旋律の 特徴、音の重なり方に気 を付けながら聴く。 ・旋律と伴奏の重なり 合いを味わいながら、合 奏する。	・正しい運指やコードの位置を覚 え、曲に適切な音量や音色で弾く こと。 ・まとまった演奏になるように、 工夫して演奏すること。	・運指 ・コード ・始まりのタイミ ング(ブレス) ・適切な速度
3 月	2	◆器楽合奏を楽 しもう(2) 「四季の歌」 「エーデルワイ ス」			

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第2学年 1学期 音楽科 シラバス

【学習の目標等】

【歌唱分野】歌唱に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲想に合った表現を工夫して歌う。

【器楽分野】演奏に必要な技能を理解し、曲想に合った美しい音で表現を工夫して演奏する。

【鑑賞分野】曲の特徴や美しさをつかみ、音楽の諸要素を用いて、根拠をもって批評する。

【創作分野】リズム・強弱・速度の変化をつけて、自分が求めるイメージをもって創作を行う。

【評価の観点及び内容】

【知識・技能】

・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

【思考・判断・表現】

音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽表現を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】

【知識・技能】

・歌唱や器楽、創作において、表現に必要な音楽用語や音楽の諸要素、形式等を理解しているか。

(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、作品)

・歌唱や器楽、創作において、表現するための基礎的な技能を身に付け、それを用いて表現しているか。

(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表)

【思考・判断・表現】

・ねらいとする表現方法を考え、ねらいに合う表現方法を取捨選択し、工夫して表現をしているか。

(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、創作作品)

【主体的に学習に取り組む態度】

・歌唱、器楽、創作、鑑賞において、音楽を味わい楽しみ試行錯誤しながら様々な活動に取り組もうとしているか。(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表、発表の内容、鑑賞レポート、他者の意見から様々な発見をしたか、自分の考えを発展させたか)

【学びを高める学習方法アドバイス】

学習方法 (持ち物やノートの取り方、家庭学習等について)

(1)持ち物 ※音楽バッグに入れて授業に持参する。授業が始まる前に、道具を出して机の上に置いておく。

①教科書3冊(音楽上下、器楽) ②合唱曲集(コーラス・フェスティバル) ③音楽ワーク④音楽ファイル
⑤付箋紙、のり ⑥筆記用具

(2)提出物について ※それぞれの提出期限を守って提出すること

①振り返りカード②鑑賞レポート③合唱曲記録プリント④器楽プリント⑤教科書の記録コーナー⑥ファイル

(3)家庭学習について

①鑑賞レポート、学習プリント、ワーク、創作作品の仕上げを宿題にすることがある。

②chrome bookの音源で合唱曲の自分のパートを練習する宿題を出すことがある。

授業の受け方 ●やる気を持って取り組めば、自分に力がつく●合唱は仲間と協力して練習に取り組む

(1)適切な音量や声量で、身体全体を使って演奏する。(ギターやアルトリコーダーを演奏する、歌を歌う)

・声を出せば、自然に音程も声質も整うので、誰でも楽しく歌えるようになる。(笑顔で楽しもう！)

(2)話し合いの場面では、積極的に発言し、仲間と意見を交換する。そこから新たな発見や自らの考えを深化できる。(恥ずかしがらずに発言しよう！挑戦しよう！)

(3)合唱練習では、発声方法と「ブレスの効果」を理解し、仲間と声色や声質を合わせて歌う。(大きな声！)

(4)練習中の注意事項や工夫点を楽譜に記録する。(まずは先生が言ったことを記録してみよう！)

(5)鑑賞分野では、「音楽の諸要素」を用いて、「自分が感じたこと」を自分の言葉で鑑賞レポートに記述する。

【教科担任からのメッセージ】

1 授業は週に1回、年間35回です。常に「何を工夫して、どのように表現したいのか」を考えよう。

2 自分の考えと仲間の考えの良さや違いを理解し、より素晴らしい表現を考え、言葉や演奏で伝えよう。

(様式2)

月	時配	学習する内容 (時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身に付けて もらいたい力・学習内容	家庭学習の要点
4 月	3	◆出会いの喜び (1) ①授業の見通し ②教科書の旅 ③教材の配付 ④「校歌」他	・1年間の授業の見通しをもつ。 ・「教科書の旅」(内容把握)を通して授業に興味をもつ。	・主体的に話を聞き、仲間と言葉を交わしながら、1年間の見通しをもつこと。 ・発声や歌詞の内容に気を付けながら「校歌」を歌うこと。	・年間の合唱活動 ・発声
		◆情景を思い浮かべながら言葉を大切に歌おう(2) 「夏の思い出」	・曲想と歌詞の結びつきに注目し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	・日本語のもつリズムや抑揚と旋律の結びつきに注目し、曲にふさわしい表現を工夫すること。 ・情景を思い浮かべて歌うこと。 ・グループで表現を考え、発表すること。(工夫点+歌唱)	・音色 ・リズム ・旋律 ・強弱 ・形式
5 月	4	◆旋律の重なりのおもしろさを味わおう(2) 【鑑賞】 バッハ作曲 「フーガ」	・次々に現れる主題に注目し、よさや美しさを味わう。 ・パイプオルガンの豊かな響きを感じ取りながら聴く。	・主体的に音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。 ・「音楽の諸要素」を用いて、根拠をもって音楽を批評すること。	・時代背景 ・バロック音楽 ・パイプオルガン ・音色 ・形式
		◆心通う合唱-1 選曲とパート練習(4) 混声3部合唱	・学級のイメージに合った曲を選曲する。	・主体的に候補曲を聴き、学級の個性に合った曲を選曲すること。 ・互いの意見を受け止め、選曲すること。	・リズム ・旋律 ・強弱 ・構成
6 月	4		・歌詞の意味や曲の特徴を理解すること。	・歌詞と旋律の関わり、曲想の変化をつかむこと。 ・作詞者と作曲者の意図を掴み、イメージを持ちながら歌うこと。	
7 月	2	◆心通う合唱-2 音楽を指揮で表現して、より豊かな音楽活動につなげよう(4) 【指揮と歌唱】 混声3部合唱 ①指揮について ②選曲と分析 ③パート練習 ④合わせ練習	・音楽と歌詞の関わりに気付き、強弱記号や速度記号に着目して歌う。 ・曲想と音楽の構造を生かして表情豊かに歌う。	・基礎的な指揮をするときのポイント(P51の1~5)を理解し、指揮をすること。 ・指揮者の役割が演奏者の意欲や表現を引き出すことを理解し、表現の工夫を考えること。 ・グループで具体的に指揮を考え、グループ毎に実演すること。 ・それぞれのグループの指揮について考え、お互いに意見を提示し合いながら、今後の表現の工夫につなげること。	・指揮法 ・表現 ・強弱 ・速さ ・音色 ・構成 ・曲に応じた発声や声の音色 ・ハーモニー

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第2学年 2学期 音楽科 シラバス

【学習の目標等】

- 【歌唱分野】歌唱に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲想に合った表現を工夫して歌う。
- 【器楽分野】演奏に必要な技能を理解し、曲想に合った美しい音で表現を工夫して演奏する。
- 【鑑賞分野】曲の特徴や美しさをつかみ、音楽の諸要素を用いて、根拠をもって批評する。
- 【創作分野】リズム・強弱・速度の変化をつけて、自分が求めるイメージをもって創作を行う。

【評価の観点及び内容】

【知識・技能】

・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

【思考・判断・表現】

音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽表現を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】

【知識・技能】

・歌唱や器楽、創作において、表現に必要な音楽用語や音楽の諸要素、形式等を理解しているか。
(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、作品)
・歌唱や器楽、創作において、表現するための基礎的な技能を身に付け、それを用いて表現しているか。
(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表)

【思考・判断・表現】

・ねらいとする表現方法を考え、ねらいに合う表現方法を取捨選択し、工夫して表現をしているか。
(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、創作作品)

【主体的に学習に取り組む態度】

・歌唱、器楽、創作、鑑賞において、音楽を味わい楽しみ試行錯誤しながら様々な活動に取り組もうとしているか。(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表、発表の内容、鑑賞レポート、他者の意見から様々な発見をしたか、自分の考えを発展させたか)

【学びを高める学習方法アドバイス】

学習方法 (持ち物やノートの取り方、家庭学習等について)

- (1)持ち物 ※音楽バッグに入れて授業に持参する。授業が始まる前に、道具を出して机の上に置いておく。
①教科書3冊(音楽上下、器楽) ②合唱曲集(コーラス・フェスティバル) ③音楽ワーク ④音楽ファイル
⑤付箋紙、のり ⑥筆記用具
- (2)提出物について ※それぞれの提出期限を守って提出すること
①振り返りカード ②鑑賞レポート ③合唱曲記録プリント ④器楽プリント ⑤教科書の記録コーナー ⑥ファイル
- (3)家庭学習について
①鑑賞レポート、学習プリント、ワーク、創作作品の仕上げを宿題にすることがある。
②chrome bookの音源で合唱曲の自分のパートを練習する宿題を出すことがある。

授業の受け方 ●やる気を持って取り組み、自分に力がつく ●合唱は仲間と協力して練習に取り組む

- (1)適切な音量や声量で、身体全体を使って演奏する。(ギターを演奏する、歌を歌う、創作)
・声を出せば、自然に音程も声質も整うので、誰でも楽しく歌えるようになる。(笑顔で楽しもう！)
- (2)話し合いの場面では、積極的に発言し、仲間と意見を交換する。そこから新たな発見や自らの考えを深化できる。(恥ずかしがらずに発言しよう！挑戦しよう！)
- (3)合唱練習では、発声方法と「ブレスの効果」を理解し、仲間と声色や声質を合わせて歌う。(大きな声！)
- (4)練習中の注意事項や工夫点を楽譜に記録する。(まずは先生が言ったことを記録してみよう！)
- (5)鑑賞分野では、「音楽の諸要素」を用いて、自分の言葉や表現も加えて鑑賞レポートに記述する。根拠をもって曲を批評することが大切です。自分の考えの要点を整理して記述できるように、工夫しましょう。

【教科担任からのメッセージ】

- 1 授業は週に1回、年間35回です。常に「何を工夫して、どのように表現したいのか」を考えよう。
- 2 自分の考えと仲間の考えの良さや違いを理解し、より素晴らしい表現を考え、言葉や演奏で伝えよう。

(様式3)

月	時配	学習する内容 (時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身に付けて もらいたい力・学習内容	家庭学習の要点
9 月	3	◆曲想を生かして表情豊かに歌おう(2) 【歌唱】 「サンタルチア」	・旋律の特徴を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	・3/8拍子の雰囲気や速度の変化(揺れ)を感じ取り、工夫して歌う。 ・歌唱表現に関わる知識や技能を生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うこと。	・巻き舌 ・ベルカント唱法
		◆心通う合唱 【歌唱】(5) ・学級曲 ・学年曲 【鑑賞曲】 ・合唱に関連するもの ・表現の技術に関連するもの	・作詞者と作曲者の思いや意図を理解し、曲想や音楽の構造にふさわしい表現をする。 ・観賞用の合唱曲を聴き、演奏の工夫点に気づく。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解すること。 ・歌唱表現に関わる知識や技能を生かしたりしながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。 ・グループやパートで言葉を往還させながら、よりよい表現を見いだしながら歌うこと。	・発声 ・声色 ・強弱の変化 ・速度の変化
11 月	4	◆歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう 【鑑賞】(2) 歌舞伎「勧進帳」 【実技】(2) 「寄せの合方」	・声や楽器の音色、旋律の特徴などに気を付けながら、長唄のよさや美しさを味わって聴く。 ・声や音楽の特徴を生かして長唄を唄う。	・音楽、舞踊、演技ふあ一体となった歌舞伎のよさや美しさを味わうこと。 ・芝居、舞、音楽の特徴を味わい、演奏家が表現する際に必要な技能を知ること。(発声や節回しの特徴) ・史実との関連と物語の内容や登場人物の心情を理解すること。 ・模範演奏を聴いたりまねたりしながら声の音色や節回しの特徴を感じ取り、表現を工夫して唄う。	・歌舞伎の歴史 ・物語の時代背景 ・史実との関連 ・唄い尻 ・産み字
12 月	5	◆響きの世界(2)【鑑賞】 ベートーヴェン「交響曲 第5番」より1楽章	・曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わう。 ・管弦楽の表現や響きを味わう。	・作曲者と当時の時代背景について知ること。 ・曲の構成であるソナタ形式の動機の繰り返しや変化に着目しながら、オーケストラの豊かな響きや美しさを味わって聴くこと。	・時代背景 ・古典派からロマン派へ ・管弦楽 ・ソナタ形式
		◆創作(3) ※12月は1回分 My Melody	・言葉の抑揚を生かして旋律をつくる。	・課題に沿って創意工夫してつくること。 ・テーマを決めてつくった俳句のイメージに合う音階を選び、抑揚にある旋律をつくること。	・五七調 ・民謡音階 ・律音階 ・都節音階 ・沖縄音階

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第2学年 3学期 音楽科 シラバス

【学習の目標等】

- 【歌唱分野】**歌唱に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲想に合った表現を工夫して歌う。
【器楽分野】演奏に必要な技能を理解し、曲想に合った美しい音で表現を工夫して演奏する。
【鑑賞分野】曲の特徴や美しさをつかみ、音楽の諸要素を用いて、根拠をもって批評する。
【創作分野】リズム・強弱・速度の変化をつけて、自分が求めるイメージをもって創作を行う。

【評価の観点及び内容】

【知識・技能】

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

【思考・判断・表現】

音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽表現を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】

【知識・技能】

- ・歌唱や器楽、創作において、表現に必要な音楽用語や音楽の諸要素、形式等を理解しているか。
(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、作品)
- ・歌唱や器楽、創作において、表現するための基礎的な技能を身に付け、それを用いて表現しているか。
(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表)

【思考・判断・表現】

- ・ねらいとする表現方法を考え、ねらいに合う表現方法を取捨選択し、工夫して表現をしているか。
(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、創作作品)

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・歌唱、器楽、創作、鑑賞において、音楽を味わい楽しみ試行錯誤しながら様々な活動に取り組もうとしているか。(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表、発表の内容、鑑賞レポート、他者の意見から様々な発見をしたか、自分の考えを発展させたか)

【学びを高める学習方法アドバイス】

学習方法 (持ち物やノートの取り方、家庭学習等について)

- (1)持ち物 ※音楽バッグに入れて授業に持参する。授業が始まる前に、道具を出して机の上に置いておく。
①教科書3冊(音楽上下、器楽)②合唱曲集(コーラス・フェスティバル)③音楽ワーク④音楽ファイル
⑤付箋紙、のり⑥筆記用具
- (2)提出物について ※それぞれの提出期限を守って提出すること
①振り返りカード②鑑賞レポート③合唱曲記録プリント④器楽プリント⑤教科書の記録コーナー⑥ファイル
- (3)家庭学習について
①鑑賞レポート、学習プリント、ワーク、創作作品の仕上げを宿題にすることがある。
②chrome bookの音源で合唱曲の自分のパートを練習する宿題を出すことがある。

授業の受け方 ●やる気を持って取り組めば、自分に力がつく●合唱は仲間と協力して練習に取り組む

- (1)適切な音量や声量で、身体全体を使って演奏する。(楽器を演奏する、歌を歌う、創作)
・声を出せば、自然に音程も声質も整うので、誰でも楽しく歌えるようになる。(笑顔で楽しもう！)
- (2)話し合いの場面では、積極的に発言し、仲間と意見を交換する。そこから新たな発見や自らの考えを深化できる。(恥ずかしがらずに発言しよう！挑戦しよう！)
- (3)合唱練習では、発声方法と「ブレスの効果」を理解し、仲間と声色や声質を合わせて歌う。(大きな声！)
- (4)練習中の注意事項や工夫点を楽譜に記録する。(まずは先生が言ったことを記録してみよう！)
- (5)鑑賞分野では、「音楽の諸要素」を用いて、自分の言葉や表現も加えて鑑賞レポートに記述する。根拠をもって曲を批評することが大切です。自分の考えの要点を整理して記述できるように、工夫しましょう。

【教科担任からのメッセージ】

- 1 授業は週に1回、年間35回です。常に「何を工夫して、どのように表現したいのか」を考えよう。
- 2 自分の考えと仲間の考えの良さや違いを理解し、より素晴らしい表現を考え、言葉や演奏で伝えよう。

(様式4)

月	時配	学習する内容 (時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
1 月	3	(つづき) ◆創作(2) ※1月は2回分 My Melody	(つづき) ・言葉の抑揚を生かして旋律をつくる。	(つづき) ・課題に沿って創意工夫してつくること。 ・テーマを決めてつくった俳句のイメージに合う音階を選び、抑揚にある旋律をつくること。	(つづき) ・五七調 ・民謡音階 ・律音階 ・都節音階 ・沖縄音階
		◆心通う合唱 (5)【歌唱】 ①3年生を送る会学年合唱 「未定」 ②卒業式送別の歌(1・2年) 「そのままの君で」 【鑑賞】 オペラ「アイーダ」より「第2幕 2場 凱進行進曲」他	【歌唱】 ・歌詞の意味と曲の特徴をつかみ、聴き手が感動する表現を工夫する。 ・声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌う。 【鑑賞】 ・オペラに親しみ、その音楽を味わう。	【歌唱】 ・合唱を通して、記号や音楽用語を理解すること。 ・曲の「各部分」に適した表現で歌うこと。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解すること。 ・グループで言葉を往還させながら、よりよい表現を見いだすこと。 【鑑賞】 ・登場人物の気持ちを想像しながら、音楽のよさや美しさを味わってきくこと。 ・音楽、文学、演劇、舞踊、美術などが一体化となったオペラを味わいながら聴くこと。	・発声 ・声色 ○諸要素との関わり ・三要素 ・速さ ・強弱 ・構成 ・総合芸術
3 月	3	◆ギターの響き (3) ワーク作曲 「大きな古時計」 ※参考音源 平井堅「大きな古時計」	・「大きな古時計」を曲想に合った表現を工夫し、アンサンブルで表現する。	・正しい運指や奏法を身に付け、楽しみながら弾くこと。 ・パートの役割を理解し、曲想にあった工夫をして、アンサンブルを行うこと。 ・グループ毎に発表を行い、互いにギターの響きを味わうこと。	・運指 ・アポヤンド奏法 ・アルアイレ奏法 ・和声進行

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第3学年 1学期 音楽科 シラバス

【学習の目標等】

- 【歌唱分野】歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい表現で演奏する。
【器楽分野】器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい表現で演奏する。
【鑑賞分野】鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
【創作分野】創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある作品をつくること。

【評価の観点及び内容】

【知識・技能】

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

【思考・判断・表現】

音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽表現を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】 3つの観点

【知識・技能】

- ・歌唱や器楽、創作において、表現に必要な音楽用語や音楽の諸要素、形式等を理解しているか。(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、作品)
- ・歌唱や器楽、創作において、表現するための基礎的な技能を身に付け、それをを用いて表現しているか。(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表)

【思考・判断・表現】

- ・ねらいとする表現方法を考え、ねらいに合う表現方法を取捨選択し、工夫して表現をしているか。(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、創作作品)

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・歌唱、器楽、創作、鑑賞において、音楽を味わい楽しみ試行錯誤しながら様々な活動に取り組もうとしているか。(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表、発表の内容、鑑賞レポート、他者の意見から様々な発見をしたか、自分の考えを発展させたか)

【学びを高める学習方法アドバイス】

学習方法 (持ち物やノートの取り方、家庭学習等について)

- (1)持ち物 ※音楽バッグに入れて授業に持参する。授業が始まる前に、道具を出して机の上に置いておく。
①教科書3冊(音楽上下、器楽) ②合唱曲集(コーラス・フェスティバル) ③音楽ワーク ④音楽ファイル
⑤付箋紙、のり ⑥筆記用具(必ず蛍光ペンを持参のこと) ⑦アルトリコーダー(タオルを持参)
- (2)提出物について ※それぞれの提出期限を守って提出すること
①振り返りカード②鑑賞レポート③合唱曲記録プリント④器楽プリント⑤教科書の記録コーナー⑥ワーク
- (3)家庭学習について
①鑑賞レポート、学習プリント、ワーク、創作作品の仕上げを宿題にすることがある。
②chrome bookの音源で合唱曲の自分のパートを練習する宿題を出すことがある。

授業の受け方 ●やる気を持って取り組み、自分に力がつく●合唱は仲間と協力して練習に取り組む

- (1)適切な音量や声量で、身体全体を使って演奏する。(ギターやアルトリコーダーを演奏する、歌を歌う)
・声を出せば、自然に音程も声質も整うので、誰でも楽しく歌えるようになる。(笑顔で楽しもう！)
- (2)話し合いの場面では、積極的に発言し、仲間と意見を交換する。そこから新たな発見や自らの考えを深化できる。(恥ずかしがらずに発言しよう！挑戦しよう！)
- (3)合唱練習では、発声方法と「ブレスの効果」を理解し、仲間と声色や声質を合わせて歌う。(大きな声！)
- (4)練習中の注意事項や工夫点を楽譜に記録する。(まずは先生が言ったことを記録してみよう！)
- (5)鑑賞分野では、「音楽の諸要素」を用いて、自分が感じたことを自分の言葉で鑑賞レポートに記述する。(詳しく丁寧に書いてみよう！要点を整理して工夫して書こう！)

【教科担任からのメッセージ】

- 1 授業は週に1回、年間35回です。常に「何を工夫して、どのように表現したいのか」を考えよう。
- 2 自分の考えと仲間の考えの良さや違いを理解し、より素晴らしい表現を考え、言葉や演奏で伝えよう。

(様式2)

月	時配	学習する内容 (時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身に付けて もらいたい力や学習内容	家庭学習の要点
4 月	4	◆表現の喜び(1) ①授業のきまり ②教科書の旅 ③歌唱 「校歌」「手紙」	・1年間の授業の流れや見通しをもつ。 ・教科書の内容や様々なジャンルを知る。	・意欲的に話を聞き、自分の目標を定め、楽しみ方を理解すること。 ・教科書の内容や、様々なジャンルを知り、主体的に正確に、分類や記述ができること。	・授業の受け方 ・音楽への興味の持ち方や楽しみ方 ・教科書の内容
		◆情景を思い浮かべて(2) 【歌唱】 滝 廉太郎作曲 「花」	・情景を思い浮かべながら、言葉を大切に合唱する。	・歌詞の内容と旋律と強弱との関わりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。 ・日本語の美しい響きを大切にしながら、発音に気を付けて歌うこと。	・時代背景 ・旋律 ・強弱
		◆曲想を生かして 「帰れソレントへ」	・曲想を生かして表情豊かに歌う。	・短調と長所の違いを感じ取り、速度や強弱に気を付けながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。	・速度 ・旋律 ・強弱 ・ベルカント唱法
		◆オーケストラの響き～世界中で愛されるボレロの謎を解く～(2) 【鑑賞】 ラヴェル作曲 バレエ音楽「ボレロ」	・楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わう。 ・バレエと音楽のコラボレーションを味わう。	・曲全体を通して繰り返し演奏されるリズムと2つの旋律に注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。 ・音色や強弱の変化に注目して聴くこと。 ・バレエやフィギュアスケートの演技を味わう。	・時代背景 ・近代音楽 ・オーケストラレーション ・管弦楽の演奏効果
5 月	4	◆あなたも作曲家(2) 【創作】 Let's Create!	・音の特徴や重なりを感じてリズムアンサンブルをつくる。	・課題に沿って4分の4拍子で創意工夫して創作すること。 ・主体的にパートナーと、リズムを重ねる、掛け合いをする、違うリズムを重ねるなど、主体的に変化を加えて工夫してつくること。 ・互いの発表を聴き合い、様々な変化を味わうこと。	・リズム ・速度 ・強弱 ・変化 ・対照 ・構成
		◆響き合う合唱(4) 【歌唱】 学年合唱「証」 ①選曲 ②学級曲の分析 ③パート練習 ④合わせ練習 ※合唱曲の学びに関連する鑑賞曲 (学級によって違う曲になります)	・全体の響きや各声部の役割を生かして歌唱表現を工夫する。 ・歌詞と音楽の関連性を意識して表現する。 ・曲想と音楽の構造と関わりを理解して、歌唱表現を工夫する。	・音の重なりを気付けて、互いのパートを良く聴き合いながら、歌詞の内容や曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。 ・主体的に声が響き合う美しさを味わいながら歌うこと。 ・歌詞の内容や音楽のよさや美しさを理解し、学級の個性に合った曲を選曲すること。 ・主体的に旋律の動きや曲想の変改を理解し、それらの変化を工夫して表現すること。 ・主体的に思いや意図をもち、自分なりに工夫して歌うこと。	・時代背景 ・歌詞の意味 ・曲にふさわしい発声と声の音色 ・曲の構造 ・歌詞の内容 ・旋律やハーモニーの変化
6 月	4				
7 月	2				

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第3学年 2学期 音楽科 シラバス

【学習の目標等】

- 【歌唱分野】歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい表現で演奏する。
【器楽分野】器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい表現で演奏する。
【鑑賞分野】鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
【創作分野】創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある作品をつくること。

【評価の観点及び内容】

【知識・技能】

・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

【思考・判断・表現】

音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽表現を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】 3つの観点

【知識・技能】

・歌唱や器楽、創作において、表現に必要な音楽用語や音楽の諸要素、形式等を理解しているか。
(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、作品)
・歌唱や器楽、創作において、表現するための基礎的な技能を身に付け、それをを用いて表現しているか。
(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表)

【思考・判断・表現】

・ねらいとする表現方法を考え、ねらいに合う表現方法を取捨選択し、工夫して表現をしているか。
(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、創作作品)

【主体的に学習に取り組む態度】

・歌唱、器楽、創作、鑑賞において、音楽を味わい楽しみ試行錯誤しながら様々な活動に取り組もうとしているか。(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表、発表の内容、鑑賞レポート、他者の意見から様々な発見をしたか、自分の考えを発展させたか)

【学びを高める学習方法アドバイス】

学習方法 (持ち物やノートの取り方、家庭学習等について)

- (1)持ち物 ※音楽バッグに入れて授業に持参する。授業が始まる前に、道具を出して机の上に置いておく。
①教科書3冊(音楽上下、器楽) ②合唱曲集(コーラス・フェスティバル) ③音楽ワーク ④音楽ファイル
⑤付箋紙、のり ⑥筆記用具(必ず蛍光ペンを持参のこと) ⑦アルトリコーダー(タオルを持参)
(2)提出物について ※それぞれの提出期限を守って提出すること
①振り返りカード②鑑賞レポート③合唱曲記録プリント④器楽プリント⑤教科書の記録コーナー⑥ワーク
(3)家庭学習について
①鑑賞レポート、学習プリント、ワーク、創作作品の仕上げを宿題にすることがある。
②chrome bookの音源で合唱曲の自分のパートを練習する宿題を出すことがある。

授業の受け方 ●やる気を持って取り組めば、自分に力がつく●合唱は仲間と協力して練習に取り組む

- (1)適切な音量や声量で、身体全体を使って演奏する。(ギターやアルトリコーダーを演奏する、歌を歌う)
・声を出せば、自然に音程も声質も整うので、誰でも楽しく表情豊かに歌えるようになる。
(2)話し合いの場面では、積極的に発言し、仲間と意見を交換する。そこから新たな発見や自らの考えを深化できる。(恥ずかしがらずに発言しよう!挑戦しよう!)様々な意見を表現や創作に生かしていく。
(3)合唱練習では、発声方法と「ブレスの効果」を理解し、仲間と声色や声質を合わせて歌う。
曲想に合った適切な声量で歌う!歌詞の意味を考え、感情をこめて歌う!
(4)練習中の注意事項や工夫点を楽譜に記録する。(まずは先生が言ったことを記録してみよう!)
(5)鑑賞分野では、「音楽の諸要素」を用いて、自分が感じたこと・気がついたことを自分の言葉や表現を加えて鑑賞レポートに記述する。これまで得た知識を生かして、根拠をもって曲を批評することが重点です。

【教科担任からのメッセージ】

- 1 授業は週に1回、年間35回です。常に「何を工夫して、どのように表現したいのか」を考えよう。
- 2 自分の考えと仲間の考えの良さや違いを理解し、より素晴らしい表現を考え、言葉や演奏で伝えよう。

(様式3)

月	時配	学習する内容 (時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
9月	4	◆作曲者の思いを感じ取る(2) 【鑑賞】 スメタナ作曲 交響詩「我が祖国」 より<ブルタバ>	・作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わう。	・曲想と音楽の特徴との関わりに注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。 ・作曲者が記した表題や解説、当時の時代背景から、作品にこめられた思いを感じ取って聴くこと。	・時代背景と国民学派 ・音色 ・速度 ・旋律 ・強弱
		◆心通う合唱 ～思いを歌に込めて～(6) 【歌唱】 ・学級曲 ・学年曲 (warm-up) 【鑑賞】 ～歌唱表現につながるオペラのアリア、合唱を味わう～ ・私のお父さん ・誰も寝てはならぬ ・歌に生き、恋に生き ・歓喜の歌	・作詞者と作曲者の思いや意図を理解し、それらが伝わる表現を考える。 ・曲のそれぞれの箇所合った適切な声量で強弱の変化を工夫し、歌詞の内容に合った表現を工夫する。 ・民族音楽を味わい、様々な表現を知る。	・作詞者と作曲者の思いや意図を理解し、それらが伝わる表現を主体的に考えること。 ・歌詞と曲の関連性を理解し、場面に応じた表現を工夫して歌うこと。 ・声部の役割や全体の響きを関連させ、どのように歌うかについて思いや意図をもち、歌うこと。 ・小グループやパートで、言葉を往還させながら、よりよい表現を見だし、工夫して歌うこと。 ・合唱を通して、記号や音楽用語を理解し、それらを表現すること。 ・様々な音楽の表現を知り、よさや美しさを味わうこと。	・強弱 ・速度 ・声色 ・曲や場面ごとの適切な声量 ・アリア集 ・歓喜の歌
10月	4	◆能に親しむ ～源平合戦の悲劇が生んだ名作～ 【鑑賞】 能「敦盛」 【歌唱】 能「敦盛」から	【鑑賞】 ・能に親しみ、その音楽を味わう。 【歌唱】 ・声や音楽の特徴を生かして謡を謡う。	【鑑賞】 ・声や楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化などに気をつけながら、能の音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。 ・音楽、舞踊、演劇などが一体となった能のよさや美しさを味わうこと。 【歌唱】 ・声の特徴や発声を工夫して、模範演奏をまねたりしながら謡う。	・物語の時代背景 ・音色 ・リズム ・速度 ・旋律
12月	3	◆国境を越えて～世界の民族音楽を知る～	・世界の様々な楽器の音楽を味わう。 ・民族音楽と地理・歴史の関わりを知る。	・楽器の音色、旋律、リズムの特講に気を付けながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わうこと。	・民族的特徴 ・管楽器 ・弦楽器 ・打楽器
		◆希望の歌声(2) 【歌唱】 卒業の歌「未定」 三年生を送る会 学年合唱「未定」	・自分たちの思いを伝える曲を選ぶ。 ・歌詞の内容を理解し、表現の工夫を考える。	・歌詞の内容や音楽のよさ、美しさを理解し、場面(卒業式等)に合った表現をすること。 ・旋律の動きや曲想の変化を理解し、それらを適切に表現するために主体的にグループで話し合い、表現を見いだすこと。	・歌詞の内容 ・曲の各場面の表現

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第3学年 3学期 音楽科 シラバス

【学習の目標等】

- 【歌唱分野】歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい表現で演奏する。
- 【器楽分野】器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい表現で演奏する。
- 【鑑賞分野】鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
- 【創作分野】創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある作品をつくること。

【評価の観点及び内容】

【知識・技能】

・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

【思考・判断・表現】

音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽表現を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】 3つの観点

【知識・技能】

・歌唱や器楽、創作において、表現に必要な音楽用語や音楽の諸要素、形式等を理解しているか。
(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、作品)
・歌唱や器楽、創作において、表現するための基礎的な技能を身に付け、それをを用いて表現しているか。
(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表)

【思考・判断・表現】

・ねらいとする表現方法を考え、ねらいに合う表現方法を取捨選択し、工夫して表現をしているか。
(練習の過程、実技テスト、鑑賞レポート、創作作品)

【主体的に学習に取り組む態度】

・歌唱、器楽、創作、鑑賞において、音楽を味わい楽しみ試行錯誤しながら様々な活動に取り組もうとしているか。(練習や作成の過程、実技テスト、創作等の発表、発表の内容、鑑賞レポート、他者の意見から様々な発見をしたか、自分の考えを発展させたか)

【学びを高める学習方法アドバイス】

学習方法 (持ち物やノートの取り方、家庭学習等について)

- (1)持ち物 ※音楽バッグに入れて授業に持参する。授業が始まる前に、道具を出して机の上に置いておく。
①教科書3冊(音楽上下、器楽) ②合唱曲集(コーラス・フェティバル) ③音楽ワーク ④音楽ファイル ⑤付箋紙、のり ⑥筆記用具(必ず蛍光ペンを持参のこと) ⑦アルトリコーダー(タオルを持参)
- (2)提出物について ※それぞれの提出期限を守って提出すること
①振り返りカード②鑑賞レポート③合唱曲記録プリント④器楽プリント⑤教科書の記録コーナー⑥ワーク
- (3)家庭学習について
①鑑賞レポート、学習プリント、ワーク、創作作品の仕上げを宿題にすることがある。
②chrome bookの音源で合唱曲の自分のパートを練習する宿題を出すことがある。

授業の受け方 ●やる気を持って取り組み、自分に力がつく●合唱は仲間と協力して練習に取り組む

- (1)適切な音量や声量で、身体全体を使って演奏する。(楽器を演奏する、歌を歌う)
・声を出せば、自然に音程も声質も整うので、誰でも楽しく表情豊かに歌えるようになる。
- (2)話し合いの場面では、積極的に発言し、仲間と意見を交換する。そこから新たな発見や自らの考えを深化できる。(恥ずかしがらずに発言しよう!挑戦しよう!)様々な意見を表現や創作に生かしていく。
- (3)合唱練習では、発声方法と「ブレスの効果」を理解し、仲間と声色や声質を合わせて歌う。
曲想に合った適切な声量で歌う!歌詞の意味を考え、感情をこめて歌う!
- (4)練習中の注意事項や工夫点を楽譜に記録する。(まずは先生が言ったことを記録してみよう!)
- (5)鑑賞分野では、「音楽の諸要素」を用いて、自分が感じたこと・気がついたことを自分の言葉や表現を加えて鑑賞レポートに記述する。これまで得た知識を生かして、根拠をもって曲を批評することが重点です。

【教科担任からのメッセージ】

- 1 授業は週に1回、年間35回です。常に「何を工夫して、どのように表現したいのか」を考えよう。
- 2 自分の考えと仲間の考えの良さや違いを理解し、より素晴らしい表現を考え、言葉や演奏で伝えよう。

(様式4)

月	時配	学習する内容 (時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	学習の要点
1 月	3	◆音楽と生活(1)	<ul style="list-style-type: none"> 著作権について知る。 生活や社会の中の音楽について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 著作権について理解し、ルールを守って音楽に親しもうとする態度を身に付けること。 JASRAC や音楽事務所や芸能事務所の活動について理解すること。 音楽に関わる仕事がたくさんあることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 著作権 JASRAC 音楽事務所 芸能事務所
		◆耳でたどる音楽史(1)	<ul style="list-style-type: none"> 日本と西洋の歴史との関連をつかみながら、各国の音楽を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽史の時代区分毎の音楽の特徴や歴史との関連を知る。 それぞれの音楽の美しさやよさを味わい、諸要素を用いて分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽史上の時代区分 歴史上の出来事と芸術・文化の関連性
		◆希望の歌声は世界の音楽と共に(4)	<ul style="list-style-type: none"> 曲の特徴や歌詞の内容を伝えるために工夫して歌う。 ポピュラー音楽を聴き、それらのよさや自由な表現を味わう。 様々なジャンルの表現方法を知り、比較しながら、自分たちの合唱に必要な表現方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 合唱を通して、記号や音楽用語を理解する。 歌詞の内容や音楽のよさ、美しさを理解し、場面(卒業式等)に合った表現をすること。 主体的に旋律の動きや曲想の変化を理解し、それらの変化を工夫して表現すること。 主体的に思いや意図をもち、自分なりに工夫して歌うこと。 小グループやパート毎に、言葉を往還させながら、よりよい表現を主体的に見だし、工夫して歌うこと。 様々なジャンルを聴き比べ、それぞれの特徴やよさを味わうこと。 	【参考ジャンル】 <ul style="list-style-type: none"> ロック ポップス ジャズ ボサノヴァ 鑑賞レポート
2 月	4	【歌唱】 卒業の歌 「未定」 三年生を送る会 学年合唱 「未定」 【鑑賞】 世界の音楽 ・ロック ・ポップス ・ジャズ ・ボサノヴァ			
3 月	1 学 年 内 日 課	◆希望の歌声(1) 【歌唱】 国歌 校歌 卒業の歌 「未定」 三年生を送る会 「未定」	<ul style="list-style-type: none"> 曲の特徴や歌詞の内容を伝えるために工夫して歌う。 3年間の学びを振り返りながら、気持ちを込めて歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や音楽のよさ、美しさを理解し、場面(卒業式等)に合った表現をすること。 主体的に旋律の動きや曲想の変更を理解し、それらの変化を工夫して表現すること。 気持ちを込めて、聴き手に思いが届く表現を工夫して歌うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> マナー 感謝を伝える心と表現